

第1期能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略

数値目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

令和2年11月

基本目標 3 移住・定住対策

(1) 首都圏等からの移住の促進	14
(ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備	
(a) 移住情報の発信と収集	
(b) 移住者の受け入れ体制整備	
(イ) 多様なニーズに対応した移住促進	
(ウ) 本市出身者のUターンの促進	
(2) 若者の定住の促進	15
(ア) 高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のUターンの促進	
(3) 地元への愛着をはぐくむ	15
(ア) 子どもたちによるふるさとの発見	
(イ) シティセールスによる市の魅力再発見	
(ウ) 特色あるまちづくり	

基本目標 4 新たな地域社会の形成

(1) 広域的な視点での地域社会の形成	17
(ア) 能代山本地域の連携	
(2) 地域社会の維持・活性化	17
(ア) 地域コミュニティの維持	
(a) 自治会等への支援	
(b) 地域づくりの促進	
(イ) 防災への対応強化	
(ウ) 地域公共交通の維持・確保	
(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援	
(a) 若者の活躍支援	
(b) 女性が活躍できる環境づくり	
(c) 健康で元気な高齢者の活躍促進	
(3) 安全・安心な暮らしを守る環境づくり	21
(ア) 既存インフラのマネジメント強化	

目 次

基本目標 1 地域における安定したしごとの創出

- (1) 地域産業の活性化の推進 1
 - (ア) 新エネルギー等関連産業の創出
 - (a) 関連産業の創出と育成
 - (b) 水素エネルギーの研究
 - (イ) 企業誘致及び企業活動への支援等
 - (a) 企業誘致の推進
 - (b) 能代港の利活用促進
 - (ウ) 商工業の振興
 - (a) 既存企業の維持拡大
 - (b) まちのにぎわいの創出
 - (c) 起業等の促進
 - (d) 人材の確保・就職支援
 - (エ) 農業の振興
 - (a) 野菜ランド能代の推進
 - (b) 水田農業の再構築
 - (c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進
 - (d) 担い手育成と新規就農者の促進
 - (オ) 林業、木材産業の振興
 - (a) 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立
 - (b) 林業生産の効率化
 - (c) 地場産材の消費拡大
- (2) 地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大 7
 - (ア) 市内外へ魅力のPR
 - (イ) 地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用
 - (ウ) 交流が広がるイベントや行事への支援

基本目標 2 少子化対策

- (1) 脱少子化に向けた市民意識の醸成 9
 - (ア) 結婚、出産、子育てに関する意識の醸成
- (2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化 10
 - (ア) 出会いの機会の提供
 - (イ) 安心して出産・子育てできる環境の充実
 - (a) 不妊治療等に対する支援の推進
 - (b) 子どもを生み育てるサポート体制の充実
 - (ウ) 子育て世帯の経済的負担の軽減
 - (エ) 子育てと仕事の両立支援
 - (a) 安心して預けられる保育環境の整備
 - (b) 企業等による子育て支援の促進
 - (オ) 子育てを地域で支援する仕組みづくり
- (3) 次代を担う子どもの成長支援 12
 - (ア) きめ細かな教育の推進
 - (a) ふるさと教育の推進
 - (b) 多様なニーズに対応した教育の推進

数値目標・重要業績評価指標(KPI)達成状況集計表

基本目標		27年度	28年度		29年度		30年度		H31年・R1年度	
				前年比	前年比	前年比	前年比			
1 地域における安定したしごとの創出	順調	19	19	0	20	1	19	▲1	16	▲3
	横ばい	6	6	0	5	▲1	7	2	7	0
	不調	5	4	▲1	4	0	3	▲1	6	3
	その他	0	1	1	1	0	1	0	1	0
2 少子化対策	順調	9	8	▲1	8	0	10	2	10	0
	横ばい	4	8	4	9	1	2	▲7	3	1
	不調	1	0	▲1	0	0	5	5	4	▲1
	その他	2	0	▲2	0	0	0	0	0	0
3 移住・定住対策	順調	9	6	▲3	6	0	8	2	7	▲1
	横ばい	2	5	3	5	0	3	▲2	2	▲1
	不調	1	1	0	1	0	1	0	3	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 新たな地域社会の形成	順調	7	9	2	10	1	9	▲1	10	1
	横ばい	9	5	▲4	5	0	4	▲1	7	3
	不調	0	3	3	2	▲1	4	2	0	▲4
	その他	1	0	▲1	0	0	0	0	0	0
合計	順調	44	42	▲2	44	2	46	2	43	▲3
	横ばい	21	24	3	24	0	16	▲8	19	3
	不調	7	8	1	7	▲1	13	6	13	0
	その他	3	1	▲2	1	0	1	0	1	0
	計	75	75	0	76	1	76	0	76	0
重複している指標	順調	4	3	▲1	2	▲1	3	1	3	0
	横ばい	0	2	2	3	1	0	▲3	1	1
	不調	0	0	0	0	0	2	2	1	▲1
	その他	1	0	▲1	0	0	0	0	0	0
	計	5	5	0	5	0	5	0	5	0
実数	順調	40	39	▲1	42	3	43	1	40	▲3
	横ばい	21	22	1	21	▲1	16	▲5	18	2
	不調	7	8	1	7	▲1	11	4	12	1
	その他	2	1	▲1	1	0	1	0	1	0
	計	70	70	0	71	1	71	0	71	0

※平成27年度の「その他」は、28年度から集計を開始したため「未確定」とした項目。
 平成28～31・令和元年度の「その他」は、基礎データの変更により基準値との比較ができなくなり、「評価不能」とした項目。

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

数値目標 (1)市の施策に関する雇用創出数 (5カ年累計)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	35	69	103	126	154	87	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							雇用奨励措置の対象となった新設・増設企業数が平成31年度までに9社あり、33人の新規雇用があったほか、創業者が46人、新規就農者が75人であったことから、市の施策に関する雇用創出数は計154人となった。	順調 (^~^)

- (1)地域産業の活性化の推進
- (ア)新エネルギー等関連産業の創出
- (a)関連産業の創出と育成

KPI (2)再生可能エネルギー自給率								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	7.0	7.2	8.1	13.3	13.7	13.8	19.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成30年以降の微増は、太陽光発電の設置台数の増加によるものである。現状では令和4年度以降に、能代港における港湾区域内の洋上風力発電事業の稼働を予定している。	横ばい (-_-)

KPI (3)風力発電による導入量								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	19,580	23,560	62,660	62,660	62,660	62,660	117,000	kW
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							能代港における港湾区域内の洋上風力発電事業の商用運転開始による増加を見込んでいたが、同事業は国内で最も先行する事例のため、想定外の課題解決が必要となり、令和4年度の稼働予定となった。	不調 (>_<)

- (b)水素エネルギーの研究

KPI (4)戦略期間内での研究会等の設置								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	—	1	1	1	1	1	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成28年度に水素エネルギーに関する研究のため能代市次世代エネルギー研究会に水素エネルギー研究部会を設けた。	順調 (^~^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(イ) 企業誘致及び企業活動への支援等

(a) 企業誘致の推進

KPI	(5) 新設、増設企業数 (5カ年累計)							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	2	4	8	8	9	5	件
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>製造業関連の企業の新規増設が1件あった。</p>							順調 (^~^)	

(b) 能代港の利活用促進

KPI	(6) 能代港の取扱い貨物量 (能代火力発電所専用棧橋を除く)							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	397,621	353,655	307,162	342,566	379,313	365,776	571,000	トン
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>原木や石灰石、原塩の取扱貨物量は増加したが、砂利・砂、金属製品などの取扱貨物量が減少し、全体的には減少している。</p>							横ばい (-)	

(ウ) 商工業の振興

(a) 既存企業の維持拡大

KPI	(7) 中小企業融資あっせん制度利用件数 (5カ年累計)							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	221	459	686	943	1,174	1,000	件
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>平成30年に小規模企業融資を12,500千円から15,000千円に引き上げたこと等により、利用件数は順調に推移している。</p>							順調 (^~^)	

(b) まちのにぎわいの創出

KPI	(8) 歩行者、自転車通行量							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	3,936	3,967	3,579	3,594	3,497	3,520	5,218	人
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>金融機関や高校の統合による移転等の結果、通行量は減少したが、ここ数年は横ばい傾向にある。</p>							横ばい (-)	

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(9) 空き店舗の利活用件数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	3	8	15	17	23	10	件
							推移の分析・考えられる要因 空き店舗利活用に対する直接の支援のほか、 創業者相談窓口の開設、創業塾の開催、創業者 融資信用保証料・利子補給金など、創業者向け の各種支援制度が複合的に利用され、利活用 件数が増加したものと考えられる。	達成状況 順調 (^~^)

(c) 起業等の促進

KPI	(5) 新設、増設企業数 (5カ年累計) (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	2	4	8	8	9	5	件
							推移の分析・考えられる要因 市内企業の増設が1件あった。	達成状況 順調 (^~^)

KPI	(10) 創業者数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	8	20	28	33	46	30	人
							推移の分析・考えられる要因 起業等相談窓口や創業塾の利用、創業者融資 に対する支援等により、創業する方が増えてき ているものと考えられる。	達成状況 順調 (^~^)

(d) 人材の確保・就職支援

KPI	(11) 新規学校卒業者就職率(能代山本)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	41.5	36.9	39.4	44.1	44.4	42.5	50.0	%
							推移の分析・考えられる要因 県内就職率、能代山本管内への就職率ともに減 少した。性別で見ると男子の能代山本管内への 就職率の低下がみられ、技術系の職種を希望 する男子生徒の県外就職が増加したことが要因 と考えられる。	達成状況 横ばい (- -)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(エ) 農業の振興

(a) 野菜ランド能代の推進

KPI	(12) 戦略作物5品目の生産出荷額							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	1,110	1,426	1,677	1,769	1,840	1,706	1,500	百万円
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>天候等により変動はあるが、ネギを中心に出荷数量を確保し、出荷額は減少したものの、全体で15億円を達成している。また、農産物の消費拡大のためトップセールスやイベントでのPR活動等により有利販売に努めている。</p>								順調 (^-^)

(b) 水田農業の再構築

KPI	(13) 30a以上区画のほ場整備率							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	60.6	61.3	62.1	64.5	66.5	68.9	64.2	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>ほ場整備事業(区画整理)が順調に進められている。</p>								順調 (^-^)

KPI	(14) 一等米比率							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	93.0	96.9	93.6	94.8	95.2	91.7	93.0	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>出穂後の高温により登熟に影響が出たこと、カメムシ被害が多かったことから、数値が下がったものと考えられる。</p>								横ばい (-_-)

KPI	(15) 食味値							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	71.1	75.0	75.0	75.9	74.5	72.7	77.0	
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>登熟期における気象条件により品質に影響があったことから、食味値にも作用したと思われる。</p>								横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

(c) 農産物の高付加価値化と流通販売の促進

KPI	(16) 地産地消協力店数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	41	41	46	56	58	58	60	店
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							市ホームページでのPRや、地産地消協力店マップの配布により、周知を図っているが、平成31年度・令和元年度の新規登録はなかった。	順調 (^-^)

KPI	(17) 農産物直売所の売上げ							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	219,390	238,555	249,506	250,779	411,959	452,722	356,467	千円
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							道の駅ふたついの集客による売り上げ増加のほか、各直売所ごとの工夫により、順調に推移している。	順調 (^-^)

(d) 担い手育成と新規就農者の促進

KPI	(18) 担い手農地集積率(個人・集団を含む)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
25年度	54.9	56.1	57.7	58.3	61.9	62.3	64.9	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							新設法人と新規就農者の増加により集積面積が増え、前年度より集積率は増加したが、全体的には認定農業者の減少により集積面積が減少したこと等が影響し、目標値に届かなかったものと考えられる。	順調 (^-^)

KPI	(19) 農業経営法人数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年	18	20	21	24	28	35	25	法人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							下田平地区、河戸川・浅内地区など5地区でほ場整備が実施され、それに伴い法人が新設された。	順調 (^-^)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(20)新規就農者数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	18	36	56	65	75	38	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>国の「農の雇用事業」や、「次世代人材投資事業」の活用等により、新規就農者数が増えたと考えられる。</p>								順調 (^~^)

(オ) 林業、木材産業の振興

(a) 木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立

KPI	(21)木材製品出荷額							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
25年度	14,013	13,976	9,001	8,645	7,643	6,256	15,000	百万円
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>木材業者の廃業等により出荷額が減少したものと考えられる。</p>								不調 (>_<)

(b) 林業生産の効率化

KPI	(22)林内道路密度(5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
25年度	19.2	19.7	20.1	20.5	20.2	20.3	20.0	m/ha
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>林業専用道の整備が進んでいるため。</p>								順調 (^~^)

KPI	(23)皆伐後の植栽面積(5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	18.1	37.9	41.7	41.7	41.7	100.0	ha
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>初期は、市補助事業の成果もあり、植栽面積が増加していたものの、近年は停滞している。森林所有者の高齢化及び不在村化、さらに林業採算性の悪化により、所有者の経営意欲が減退しているものと考えられる。</p>								不調 (>_<)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(24)秋田林業大学校本市出身研修生（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	—	1	2	2	2	5	人
	推移の分析・考えられる要因							達成状況
	開校当初は、市内から毎年1名の入学者がいたものの、全県で毎年20名程度の少ない募集枠もあり、近年の入学者は停滞している。							不調 (>_<)

(c)地場産材の消費拡大

KPI	(25)木のまちづくり推進事業利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	29	53	40	30	27	32	60	件
	推移の分析・考えられる要因							達成状況
	H31年度より、内装で10万円、外装・外塀工事で20万円の限度額を撤廃し一本化を図り、より使いやすい制度設計としたことにより増加したが、新規住宅着工件数の低下により目標値を下回ったものと考えられる。							不調 (>_<)

(2)地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大

(ア)市内外へ魅力のPR

KPI	(26)能代市の観光・物産・宿泊・交通情報に関するホームページへのアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	10,273	8,956	6,035	6,921	10,388	8,791	30,000	件
	推移の分析・考えられる要因							達成状況
	観光関係の情報発信元充実により、アクセス先が分散したため、目標値を下回ったものと考えられる。							不調 (>_<)

(イ)地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用

KPI	(27)豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	41.5	40.8	40.6	41.8	37.5	42.9	60.0	%
	推移の分析・考えられる要因							達成状況
	白神山地の眺望、風の松原、米代川、きみまち坂などの豊かな自然は、市民にとって日常の中に溶け込んでおり、観光資源という意識が希薄化していると考えられる。また、ハタハタ、きりたんぼ・だまご鍋などの郷土料理も同様に、特別意識されていないと考えられる。							横ばい (-_-)

基本目標1 地域における安定したしごとの創出

KPI	(28)滞在人口率の県内順位(休日)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	15	17					11	位
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
<p>地域経済分析システム(リーサス)のデータを引用していたが、他のデータに置き変わったため、「評価不能」としている。</p>								評価不能

(ウ)交流が広がるイベントや行事への支援

KPI	(29)観光客入込客数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	1,741,141	1,656,159	1,564,437	1,497,605	1,755,727	2,254,917	1,800,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
<p>道の駅ふたついの入込が好調だったため。</p>								順調 (^-^)

基本目標2 少子化対策

数値目標	(30)合計特殊出生率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
25年度	1.24	1.31	1.33	1.41	1.42	1.40	1.55	—
				推移の分析・考えられる要因 出生数が減少(平成30年度:233人、平成31・令和元年度:215人)したことに伴い、出生率が低下したものと考えられる。			達成状況	
								順調 (^-^)

数値目標	(31)婚姻数							
基準年	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
25年	163	164	175	158	148	162	200	件
				推移の分析・考えられる要因 ※速報値 秋田県全体では年々減少傾向にある中、本市は前年より微増となったが、全体的には平成25年に年200件を割って以降、160件前後で推移している。女性の転出増や未婚率の上昇、晩婚化などが影響しているものと考えられる。			達成状況	
								横ばい (-_-)

(1)脱少子化に向けた市民意識の醸成

(ア)結婚、出産、子育てに関する意識の醸成

KPI	(32)子どもを産み、育てやすいと感じる市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	—	27.1	27.4	24.5	26.5	60.0	%
				推移の分析・考えられる要因 結婚・子育て祝い金制度の開始や保育料等の無償化の実施、放課後児童クラブの全小学校区の整備等が進んだことにより前年度に比べ数値が伸びたものの、目標値は下回る結果となった。			達成状況	
								不調 (>_<)

KPI	(33)家庭教育支援事業等への中・高校生への参加割合(中学生)(5力年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	2.9	22.9	42.9	80.0	100.0	100.0	%
				推移の分析・考えられる要因 事業の周知に取り組んだことで、受講する中学校が順調に増え、目標を達成することができた。今後も、引き続き市内全中学校の講座受講の周知に努める。			達成状況	
								順調 (^-^)

基本目標2 少子化対策

KPI	(33)家庭教育支援事業等への中・高校生の参加割合(高校生)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	4.6	3.8	5.6	7.7	7.0	5.7	15.0	%
							推移の分析・考えられる要因 達成状況	
体験活動を通して社会性を育む活動や乳幼児と保護者と交流し命の大切さを学ぶ事業等で高校生のボランティア参加機会を設けているが、事業活動日と生徒の日程が合わず、参加者が少なくなってしまう。また、参加者の固定化も見られるため、周知方法を見直し、活動の様子がわかるようHPに掲載するなど、参加意欲を高める工夫をする必要がある。							不調 (>_<)	

(2)結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化

(ア)出会いの機会の提供

KPI	(34)あきた結婚支援センター入会者数(5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	119	142	169	205	232	256	194	人
							推移の分析・考えられる要因 達成状況	
制度が定着してきているものと思われる。平成31・令和元年度 入会者数 24人							順調 (^-^)	

(イ)安心して出産・子育てできる環境の充実

(a)不妊治療等に対する支援の推進

KPI	(35)不妊治療費助成制度利用件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	44	67	57	62	68	54	53	件
							推移の分析・考えられる要因 達成状況	
平成30年度から不育症治療費の助成も始まり、不妊治療に対する周知・理解も進んできたと思われる。利用件数については前年度に比べ減少したが、目標値は上回る結果となった。							順調 (^-^)	

(b)子どもを生み育てるサポート体制の充実

KPI	(36)子育て支援センター利用者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	7,565	9,012	9,313	10,146	10,057	9,242	7,900	人
							推移の分析・考えられる要因 達成状況	
子育て支援センターの行事をホームページや広報等で知り、母親たちの交流の場につながっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、3月のセンター業務を休止したことにより、前年度に比べ利用者が減少したが、目標値は上回る結果となった。							順調 (^-^)	

基本目標2 少子化対策

KPI	(37)妊婦一般健康診査受診率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	86.8	87.9	100.0	89.3	88.5	97.8	100.0	%
							推移の分析・考えられる要因 流産、転出等を除くとほぼ100%の受診率である。	達成状況 順調 (^_^)

KPI	(32)子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	-	-	27.1	27.4	24.5	26.5	60.0	%
							推移の分析・考えられる要因 結婚・子育て祝い金制度の開始や保育料等の無償化の実施、放課後児童クラブの全小学校区の整備等により前年比で数値が伸びたものと思われる。	達成状況 不調 (>_<)

(ウ)子育て世帯の経済的負担の軽減

KPI	(38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	25.3	26.0	26.6	26.2	20.7	25.5	35.0	%
							推移の分析・考えられる要因 結婚・子育て祝い金制度の開始や保育料等の無償化の実施、放課後児童クラブの全小学校区の整備等が進んだことにより前年度に比べ数値が伸びたものの、目標値は下回る結果となった。	達成状況 横ばい (-_-)

(エ)子育てと仕事の両立支援

(a)安心して預けられる保育環境の整備

KPI	(39)病児・病後児保育事業実施施設数(保育所等)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	4	4	4	3	3	3	6	施設
							推移の分析・考えられる要因 事業実施に必要な看護師の確保が難しく、実施施設は増えていない。	達成状況 不調 (>_<)

基本目標2 少子化対策

KPI	(40)放課後児童クラブ(留守家庭児童会)のクラス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	11	9	11	11	14	15	15	クラス
							推移の分析・考えられる要因 第五小学校区に1クラス新設した。	達成状況 順調 (^-)

(b)企業等による子育て支援の促進

KPI	(41)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	24	24	24	29	34	41	26	社
							推移の分析・考えられる要因 策定義務のある従業員101人以上の企業の策定率は100%となっており、努力義務となっている100人以下の企業における策定が進んでいると考えられる。 従業員数301人以上…0社 従業員数101～300人…12社 従業員数100人以下…29社	達成状況 順調 (^-)

(オ)子育てを地域で支援する仕組みづくり

KPI	(38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	25.3	26.0	26.6	26.2	20.7	25.5	35.0	%
							推移の分析・考えられる要因 結婚・子育て祝い金制度の開始や放課後児童クラブの全小学校区の整備等により、前年比で数値が伸びたものと思われる。	達成状況 横ばい (-)

(3)次代を担う子どもの成長支援

(ア)きめ細かな教育の推進

(a)ふるさと教育の推進

KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	61.0	65.1	69.3	62.3	65.8	74.5	70.0	%
							推移の分析・考えられる要因 小学校、中学校ともにふるさと教育やキャリア教育など地域と関わる活動を充実させていることによるものと思われる。	達成状況 順調 (^-)

基本目標2 少子化対策

(b) 多様なニーズに対応した教育の推進

KPI	(43)5歳児親子相談参加率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	92.3	93.2	97.3	96.6	98.2	96.1	93.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							保護者や市内保育所・幼稚園等に事業の趣旨や重要性が理解され、目標値を上回っていると考えられる。	順調 (^_^)

基本目標3 移住・定住対策

数値目標	(44)市からの転出、転入増減数								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位	
26年度	△ 292	△ 175	△ 279	△ 238	△ 285	△ 231	△ 120	人	
								推移の分析・考えられる要因 平成30年度と比べて転入者数が増加し、転出者数は減少したが、依然として若者の進学・就職等に伴う転出の影響が大きく、全体としても社会減が続いている。 (平成31・令和元年 転入1,176人 転出1,407)	達成状況 不調 (>_<)

- (1) 首都圏等からの移住の促進
- (ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備
- (a) 移住情報の発信と収集

KPI	(45)移住相談件数 (5カ年累計)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位	
26年度	—	31	85	185	281	417	350	件	
								推移の分析・考えられる要因 都市部におけるふるさと回帰や地方移住への関心が高まってきていることや、市の移住定住相談窓口の認知度向上によるものと考えられる。	達成状況 順調 (^-^)

- (b) 移住者の受け入れ体制整備

KPI	(46)市への相談を経て移住した世帯数 (5カ年累計)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位	
26年度	—	2	8	23	49	77	15	世帯	
								推移の分析・考えられる要因 都市部から地方への移住に関心が高まってきていることや、市の移住定住相談窓口の認知度向上によるものと考えられる。	達成状況 順調 (^-^)

- (イ) 多様なニーズに対応した移住促進

KPI	(20)新規就農者数 (5カ年累計) (再掲)								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位	
26年度	—	18	36	56	65	75	38	人	
								推移の分析・考えられる要因 国の「農の雇用事業」や、「次世代人材投資事業」の活用等により、新規就農者数が増えたと考えられる。	達成状況 順調 (^-^)

基本目標3 移住・定住対策

KPI	(47)移住体験参加世帯数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	0	—	5	10	17	24	20	世帯
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							移住フェア等での相談受付時に、体験ツアーの活用を積極的に奨めたことで参加世帯の増加につながった。	順調 (^-^)

(ウ)本市出身者のUターンの促進

KPI	(48)移住相談件数のうちUターンした世帯数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	1	5	12	25	40	12	世帯
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							都市部でのふるさと回帰に対する意欲が高まってきたこと等が影響しているものと考えられる。	順調 (^-^)

(2)若者の定住の促進

(ア)高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のUターンの促進

KPI	(49)市内居住による奨学金の返還支援件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	7	12	15	19	24	23	45	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							制度の周知が進み、返還対象者も徐々に増えてきているが、件数としては、前年度より1件減少し、目標値に届かなかった。	不調 (>_<)

(3)地元への愛着をはぐくむ

(ア)子どもたちによるふるさとの発見

KPI	(42)地域の行事に参加している児童・生徒の割合 (再掲)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	61.0	65.1	69.3	62.6	65.8	74.5	70.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							小学校、中学校ともにふるさと教育やキャリア教育など地域と関わる活動を充実させていることによるものと思われる。	順調 (^-^)

基本目標3 移住・定住対策

(イ)シティセールスによる市の魅力再発見

KPI	(50)市ホームページモバイルアクセス数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	161,011	204,667	216,987	281,794	328,371	342,921	351,000	件
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>パソコンでの情報検索だけでなくいつでも調べられるスマートフォン等通信機器の増加により、アクセス数が増えた。</p>								順調 (^-^)

(ウ)特色あるまちづくり

KPI	(51)バスケの街を他に誇れると思う市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	38.6	39.8	36.8	39.8	38.0	35.9	50.0	%
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>対外的には「バスケが強い高校がある街」として認識されているが、市民意識の面では、能代工業高校バスケットボール部も含めた地元のバスケットボールチームの活躍や成績も影響しているものとする。また、日々の生活の中でバスケットボールに触れる機会が減少していることも要因ではないかと考えられる。</p>								横ばい (-_-)

KPI	(52)能代バスケミュージアム来館者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	4,502	3,715	3,699	4,059	4,581	3,832	5,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>大開放展により、バスケミュージアムのコンテンツの魅力等については認識されていると思うが、展示スペースの狭いことや駐車スペースの確保といった課題もあり、目標値には届かなかった。</p>								不調 (>_<)

KPI	(53)のしろ銀河フェスティバル来場者数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
25年度	3,321	3,527	3,076	2,394	2,806	3,432	4,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>前年度よりイベント会場を2会場増やし、「はやぶさ2」等の実物大模型の展示や、新規事業として「水素実験教室」等を開催したことにより、来場者数は増えたが、目標値には届かなかった。</p>								横ばい (-_-)

基本目標4 新たな地域社会の形成

数値目標	(54)このまちが住みやすいと感じる市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	—	52.5	51.2	46.7	48.0	80.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							これまで雇用対策や子育て支援等、住みやすさに繋がる施策を展開してきた一方で、住民の暮らしに対するニーズも年々多様化していることが伸び悩んだ要因の一つとして考えられる。	横ばい (-)

(1) 広域的な視点での地域社会の形成

(ア) 能代山本地域の連携

KPI	(55)市と近隣町が新たに行う連携事業数（5カ年累計）							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	—	1	5	8	8	4	事業
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							平成31年度(令和元年度)における新たな連携事業は無かったが、定住自立圏形成時から1市3町による検討会を継続しており、人口定住に向けた取組の協議を積極的に重ねてきた結果、目標を上回る連携事業の実施が可能となった。	順調 (^~^)

(2) 地域社会の維持・活性化

(ア) 地域コミュニティの維持

(a) 自治会等への支援

KPI	(56)公民館等利用者割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	20.0	19.4	21.8	21.7	19.7	19.2	20.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							利用者数と人口は共に減少傾向にあるが、利用者の割合は目標値に対しておおむね一定の割合で推移している。	順調 (^~^)

KPI	(57)自治会・町内会数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	347	346	350	349	349	349	345	
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							現在の自治会、町内会で状況に変化がなかった。	順調 (^~^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(58) 自治会、町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	36.5	34.7	35.4	37.3	32.0	30.0	50.0	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							高齢化に伴い、ボランティア参加者が減少傾向にあることにより、割合も下がったものと考えられる。	横ばい (-)

(b) 地域づくりの促進

KPI	(59) 市民まちづくり活動支援事業応募件数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	7	9	8	8	9	11	10	件
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							継続した事業の取り組みにより、同補助制度の認知度が向上してきたと考えられる。	順調 (^)

(イ) 防災への対応強化

KPI	(60) 消防団員充足率							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	83.9	83.8	82.7	83.2	81.9	81.4	93.8	%
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							人口減少、若年層の減少、被雇用者の増加といった地域社会の状況の変化により、一般団員の加入が思うように進まない状況にある。入団する団員より、定年も含め、退団する団員数のほうが多い。	横ばい (-)

KPI	(61) 自主防災組織数							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	3	5	5	21	157	183	12	自治会
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							出前講座などの機会に、積極的に防災に関する情報提供を行った。	順調 (^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

(ウ) 地域公共交通の維持・確保

KPI	(62) 路線バス等の利用者数							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	330,170	326,470	299,488	290,935	257,494	252,304	330,000	人
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>人口減少や少子高齢化、自動車の普及により、減少傾向が続いている。</p>							横ばい (-)	

KPI	(63) 巡回バスの1便平均利用者数 (市街地巡回バス『はななす号』及び向能代・落合地区巡回バス『しのめ号』)							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	10	10	11	12	11	11	14	人
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>運行開始から数年が経過し、利用の定着が図られたものと考えられる。冬期間等の天候や新型コロナウイルス感染症の影響により、冬から年度末にかけて利用者数が減少したが、元年度実績としては前年度より増加している。</p>							横ばい (-)	

(エ) 若者、女性、高齢者の活躍支援

(a) 若者の活躍支援

KPI	(64) 市民活動支援センター登録団体数							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	56	63	70	74	83	90	70	団体
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>市民活動支援センターと市民活動団体との連携が図られて市民活動が活発化してきているものと考えられる。</p>							順調 (^ ^)	

(b) 女性が活躍できる環境づくり

KPI	(65) 性別・国籍などに関わらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	8.8	10.9	9.4	10.4	8.7	9.7	15.0	%
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>年度によって若干の変動があり、男女共同参画都市宣言や関連事業、日本語ふれあい交流支援事業、人権擁護活動促進事業等を行っているが、まだ十分浸透しきれていないと考えられる。</p>							横ばい (-)	

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(66)男女イキイキ職場宣言事業所数							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	13	13	13	14	16	19	20	事業所
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>女性の能力の登用、ワークライフバランスの環境づくりに取り組む事務所として県と協定を締結することで、イメージアップを図るため、微増したと思われる。</p>							達成状況	順調 (^-^)

(c)健康で元気な高齢者の活躍促進

KPI	(67)シルバー人材センター会員数							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	335	310	286	303	321	324	400	人
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>チラシの配布により、会員拡大や仕事情報の周知に努め、前年度より会員は増加した。</p>							達成状況	横ばい (-_-)

KPI	(68)高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	3,889	4,434	5,115	4,997	5,101	4,739	5,000	人
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止した行事があり、参加者が減少した。</p>							達成状況	順調 (^-^)

(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり

(ア)既存インフラのマネジメント強化

KPI	(69)公共施設等総合管理計画の策定							単位
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	-	-	100	100	100	100	100	%
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>平成29年3月に策定済。(計画期間は令和28年度までの30年間)</p>							達成状況	順調 (^-^)

基本目標4 新たな地域社会の形成

KPI	(70)橋梁長寿命化修繕計画による修繕橋梁数 (5カ年累計)							
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	H31・R1	目標値	単位
26年度	—	2	7	13	18	25	22	橋
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							計画以上に推移している。(平成31・令和元年度は、檜山川橋、豊祥岱跨道橋、東栄団地橋、河原町橋、泥ノ木橋、加代神橋、根小屋5号橋)	順調 (^-^)